

(件名) 私学助成の充実と財源確保に関する意見書の提出について (陳情)

(陳情の要旨)

平素より、私立中学高等学校の振興につきましては、格別のご配慮を賜り深く感謝申し上げます。

鹿児島県の私立学校は、各々の建学の精神に基づき、特色ある教育を積極的に展開して、公教育の発展に寄与しております。

現在、我が国では、少子高齢化が進行し人口が急速に減少する中で、今後も持続可能な社会を継続するためには、Society5.0時代を担う子供たちに、変化に的確に対応し想像力を発揮できる資質・能力を身に付けさせる必要があります、そのための教育環境の整備が最重要課題となっています。

今般の新型コロナウイルス感染症の拡大により、日常生活でのデジタル技術の活用が進み、学校においてもICTを活用した同時双方向型のオンライン授業の取組が推進された一方で、学校間での教育のデジタル化の格差が鮮明になりました。

今後は、新型コロナウイルスとの共存という「新しい生活様式」において、私立学校が今後とも公教育の発展に大きく貢献していくためには、経常費助成の拡充による学校経営の安定的継続と、これからの公教育の基盤となるICTなどの教育環境の整備が喫緊の課題となっています。

しかしながら、各私立学校とも財政的に厳しい状況にある中で、さらにICTなどの環境整備のほか、新型コロナウイルス感染症防止の対策を行うことは、私立学校にとって限界とも言える状況にあります。

我が国の将来を担う子供たちの教育環境の整備に当たっては、公教育の一翼を担う私立高等学校等に対する助成措置の充実が必要であり、このことは、各都道府県が所管する事項とはいうものの、我が国の将来の発展に密接不可分の関係にある教育の振興に関する事柄であり、国の全面的な財政支援が求められるところであります。

つきましては、国の令和3年度の予算編成にあたり、下記の事項について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

私立高等学校等の教育の重要性に鑑み、教育基本法第8条の「私立学校教育の振興」を名実ともに確立するため、高等学校等の私学助成に係る国庫補助制度が堅持され一層の充実が図られますよう、政府及び国会に対し、地方自治法第99条の規定による意見書を提出していただきたい。